



シャインパール

WORLD RICE

速報

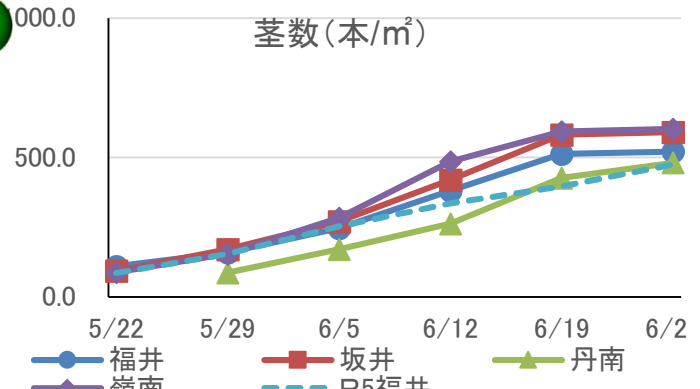
No.4



今年は平年より11日遅く、6月22日に梅雨入りとなりました。梅雨の病気のいもち病ですが、シャインパールのいもち病抵抗性は、弱いので早期防除や予防に努めてください。生育状況では、今週から来週にかけて幼穂形成期を迎えようとしています。幼穂形成期に入った圃場は、中干しを終了し間断通水を開始してください。

1. JA生育調査状況（6月28日現在）

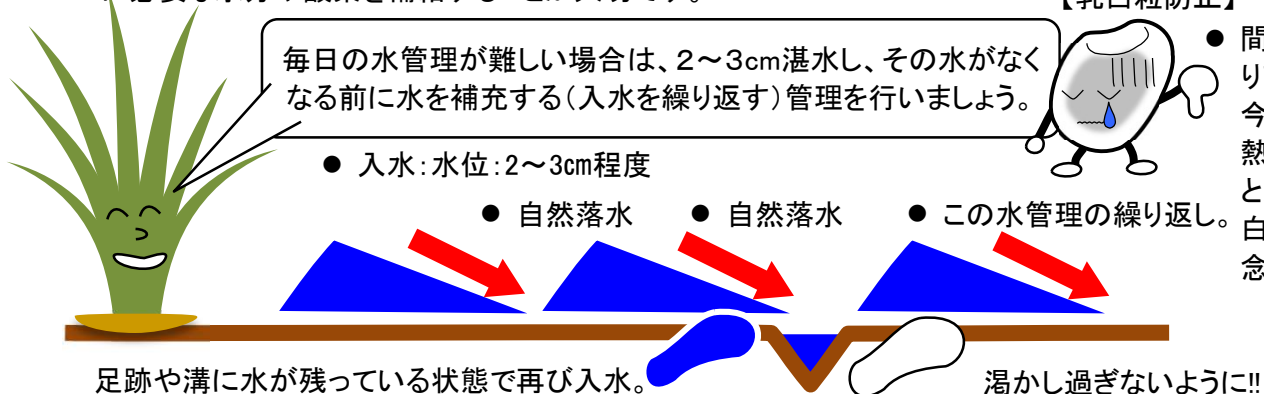
4月下旬植えのシャインパールが最高分けつ期を迎え、今週から来週に掛けて幼穂形成期に入ります。幼穂形成期に入った本田は、間断通水を行いましょう。



2. 今後の管理（間断通水）

今週から来週にかけて幼穂形成期に入ります。

- 間断通水を頻繁に行い、適切な水管理をしましょう。
- 間断通水は、土壌条件やその時の天気によってさまざまですが、入水、落水を繰り返しながら稲の根に必要な水分や酸素を補給することが大切です。



3. シャインパールの栽培管理のポイント

いもち病対策

- 梅雨入りし、多雨になることが予想されます、本田でいもち病を確認した場合には、早急に防除を行います。

【防除薬剤】

ブラシン粉剤(3～4kg/10a) 治療剤
収穫7日前まで
使用回数2回以内

- 生育が弱いところがある場合は、追肥を行います。



畦畔管理

- 畦畔の草丈も伸びてきている時期になりました。早めの草刈りを行い斑点米の原因になるカメムシの抑制に努めましょう。

